

政策オリンピック「ひきこもり支援」アイデア募集 質問事項

更新：令和8年5月22日

No	質問内容	回答
1	<p>今回、県の公募を通じて初めてひきこもり支援に関する情報を目にいたしました。当事者でありながら、これまで情報を認識できていなかった実情から、現状の取り組みは周知や対象範囲が一部に限定されている印象を受けております。</p> <p>今回のアイデア募集を経て、今後は支援の網を全県的に抜本的に拡大していくお考えがあるのか、それとも当面は既存の対応可能な範囲を維持される方針なのか、今後の規模感に関する展望をお聞かせください。</p>	<p>県では、岐阜県精神保健福祉センター内に「ひきこもり地域支援センター」を設置し、対面、電話、オンラインでの相談支援に加え、県内5圏域やオンラインでの居場所づくりを進めるほか、市町村支援を中心に人材育成や体制整備に取り組んでいます。</p> <p>今後は、これまでの支援体制や取り組みを継続しながら、今回募集するアイデアを踏まえ県内のひきこもり支援施策の充実に繋げてまいります。</p>
2	<p>現在、当事者として複数のアイデアを検討しておりますが、私自身がサポートを必要としている立場から、まずは県内で既に実施されている有効な支援策や施設を正確に把握し、活用したいと考えております。</p> <p>募集要項の別添資料以外に、実際の当事者や家族が日常的に「どこで、どのような支援を受けられるのか」を網羅的、かつ迷わず探せるような情報提供の仕組み（専用ポータルサイトやガイドブック等）は現在どの程度整備されていますでしょうか。支援を必要とする人が既存のリソースに迅速にアクセスできるような「情報の可視化」について、県としての現状認識と今後の展望をお聞かせください。</p>	<p>県のひきこもり支援につきましては、下記の県ホームページに掲載しております。  <a href="https://www.pref.gifu.lg.jp/page/264477.html">https://www.pref.gifu.lg.jp/page/264477.html</a></p> <p>また、各市町村の相談窓口については、令和7年度中に窓口を明確にし周知する取り組みを進めており、下記の県ホームページに掲載しております。  <a href="https://www.pref.gifu.lg.jp/page/9606.html">https://www.pref.gifu.lg.jp/page/9606.html</a></p>
3	<p>問題を抱える当事者として、現在受けている公的支援には大変助けられており、皆様の取り組みには感謝しております。</p> <p>一方で、就労施設などで一時的にストレスから隔離され療養できたとしても、いざ本格的に社会（一般就労など）に出ると、再び過度なストレスに巻き込まれてしまうという「現実との大きなギャップ」に直面し、解決の難しさに諦めを感じてしまう場面も多々ございます。</p> <p>今回のプロジェクトにおいて、単なる「一時的な就労施設への繋ぎ」に留まらず、社会に出た後も当事者が孤立せず、段階的にステップアップしていけるような「息の長い継続的なサポート体制」をどのように構築されるお考えか、今後の展望をお聞かせください。</p>	<p>県では、ご本人のニーズや生活環境に応じた社会体験や活動を伴走的に支援することにより、ご本人の主体性を尊重した社会参加をサポートする「伴走型ひきこもり支援」を実施しています。</p> <p>ご指摘のとおり社会に出た後も継続的に支援ができる体制は重要であり、今回募集するアイデアを踏まえ、ひきこもり支援施策の充実に繋げてまいります。</p>